



松ぼっくり



築地小HP

学校HP <https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp/> e-mail tsuiji-es@tainai.ed.jp

学び合い 認め合い 鍛え合う子

令和5年11月13日 発行

本気で伸びる松の子

校長 小川 泰文

本気にすれば たいていな事はできる。
本気ですれば なんでも面白い。
本気でしていると だれかが助けてくれる

ハクチョウの群れが学校の上空を飛ぶ季節になりました。冬の訪れとともに、2学期も後半に差し掛かります。先日はアートフェスティバルに大勢の方々からご来校の上、子どもたちの作品を鑑賞していただき、感謝申し上げます。

子どもたちは本来絵を描くことが好きです。筆記具を扱えるようになったときから、お絵かきの楽しさを存分に味わってきました。今年度の絵画も、描く楽しさを感じながら、本気で表現する姿が制作過程に見られました。大人ウケを考え、「描かせて」しまってはうまくいきません。子どもの想いを大切に、根気も育てていく活動ができたと考えています。基本的な技術指導も大切にしながら。

さて、冒頭の言葉は、後藤静香氏の「本気」の書き出しです。小学校段階の子どもたちは純粋に本気を出していけるから、ぐんぐん伸びていきます。絵画の制作も、マラソンも、日々の学習も。

かつて、こんなことがありました。Aさんは水泳で25メートル泳ぐことが目標でした。しかし、何回チャレンジしても15～16メートル止まり。なかなか思うようにはいきません。夏休みを前にして、いよいよ今日が最後の水泳学習の時。Aさんは意を決して今シーズン最後になるかもしれない検定に臨みました。息継ぎの回数をできるだけ我慢して。決して美しいフォームとは言えないながら、がむしゃらに20メートルを過ぎ、最後は息継ぎを止めて、残り3メートル、2メートル、・・・ついにプールの壁を力強くタッチすることができました。

「息が止まると思った。」ギョロっとした目で水面から顔を上げ、肩で息をしながらそう言ったAさんの顔は鼻水でぐしゃぐしゃになっていました。プールサイドにいた仲間は、Aさんに本気を見せられ、鼻水を指摘する人はいません。自然と沸き上がった拍手にAさんは包まれました。

私たちは子どもの本気を引き出すことが務めです。子どもたちの可能性を信じ、タイムリーなフォローをしていく。がんばることができる言葉掛けをしていく。「本気でやったらできた」と子どもたちが自信をもつために。簡単ではありませんが、日々試行錯誤です。

大人になれば皆、「本気でやればよかった」「もっとできたはず」と後悔の連続。本気にならない自分との葛藤が人生。自分の弱さと向き合っていかなければなりません。

冒頭の詩には続きがあります。

人間を幸福にするためにも 本気で働いているものは
みんな幸福で みんな偉い

築地小学校 外国語教育の取組

築地小学校では、1・2年生は年間7時間、3・4年生は35時間、5・6年生は70時間の英語学習を実施しています。多くのお子さんが、この英語学習を楽しみにしています。

英語の指導は、1～4年生は学級担任とALT、5・6年生は、週1時間は胎内市英語専科の平田教諭とALTで、他の時間は担任が行っています。2学期から新しいALTとして、Annastacia Schabilionが着任しました。(学校では、アナ先生と呼んでいます。)

低学年では、主に英語に親しむ活動を実施しています。挨拶や色、物の名前など普段から耳になじんでいる英語を、ゲームなどを通して身に付けていきます。子どもたちもこの時間を楽しみにしており、授業の日は教室から楽しそうな歓声が聞こえてきます。



中学年からは、教科書を使って学習を進めていきます。アルファベットを歌いながら覚えたり、発音をALTとともに練習したりして、積極的に英語を口から出せるようにしています。好きなものを聞いたり、自分のできることを話したりできるようになります。

さらに高学年からは、積極的に学国の人とコミュニケーションを取ることができるような内容が含まれてきます。相手の様子を尋ねたり、買い物をする場面でのやりとりをしたり、自分のことを紹介したりする内容を実際の場面を想定して、学習していきます。

What would you like?



I'd like ~
How much is it?



6年生の終わりには、将来の夢について友だちの前でプレゼンテーションをする活動があります。1人1台のタブレットを活用して、思い思いの夢を描いて、発表します。

また、アナ先生から、その日の給食のメニューを英語で紹介してもらうなど、授業以外の場面でも、子どもたちが英語にふれる機会を増やしています。



このようにして、小学生の時から、外国語に慣れ、外国の人たちとも臆することなく接し、これからますますグローバル化していく社会で生きていく基礎を築いています。

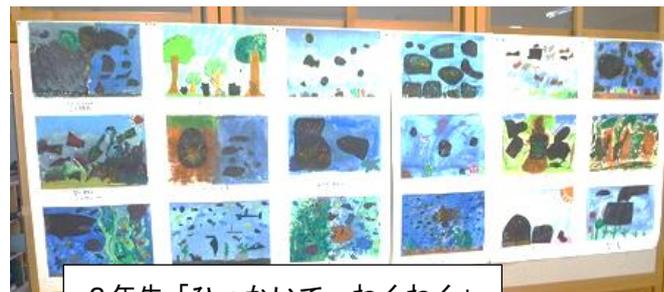
10月21日(土) アートフェスティバル



絵画作品



1年生「なかよくなろうね 小さなともだち」



2年生「ひっかいて わくわく」



4年生「不思議な乗り物に乗って GO！」



3年生「あの日 あの時の気持ち」



5年生「心に残った あの時 あの場所」



6年生「佐渡の思い出」



クラブ作品
ものづくり・写真・手芸の3つのクラブが作品を
展示了。



他にも、ついじ保育園年長児の作品な
どを展示了。
たくさんの方々にご来校いただきまし
て、ありがとうございました！

紙すき体験をしました

10月21日のアートフェスティバル、前半の作品鑑賞の後、後半の活動として、紙すき体験を行いました。

縦割り班ごとに分かれて、世界で一枚の手作りの紙を作りました。

きれいに作るのはなかなか難しかったですが、教え合い、協力しながら、楽しく取り組んでいました。



デコレーション
もしました！



紙すきのパルプづくり

- 1 シュレッダーのごみを用意
- 2 脱せつけんを入れ、にて、やわらかくする
- 3 さるにあけ、すすいで、めめりをとる
- 4 ミキサーにかけます、10秒×4回ほど
- 5 ハルプのできあがり！！



今回はシュレッダーごみを
材料のパルプにしました！

マラソン がんばりました！！

天候に恵まれず、当初予定していた週に記録会を実施できませんでしたが、1、2、3、4、6年生は10月11日（水）に、5年生は10月18日（水）にマラソン記録会を実施しました。1、2年生は約800m、3、4年生は1200m、5、6年生は1500mの距離を、自己記録をめざし、頑張って走りぬきました。

たくさんの声援をありがとうございました。

